

わか草



第62号 令和4年4月1日
発行 東京都立東部療育センター
広報委員会
東京都江東区新砂3-3-25

わか草のよう

東京都立東部療育センター
副院長 益山 龍雄



研究報告会
講評を行う
益山副院長
(2022年3月9日)

「わか草」という名前をみて考えました。春に新しく出てくる新芽のことであり、春の息吹を感じることでできる言葉です。優しくも力強いイメージがあります。

新しい年度になり、新しい出会いの季節である春です。本来は希望に満ちた時期です。

今日も朝から、「新型コロナウイルス」、「ウクライナ」、「地震」のニュースが何度も繰り返し流れています。ニュースの中では、何十人、何百人、何千人という数字の大きさが目立ちま

す。非常事態になると一人一人の大切な命が軽んじられていくように感じます。テレビも数の多さをばかり報道しています。

皆さんは、「守る会」の三原則をご存じでしょうか、

「決して争ってはいけない、争いの中に弱いものの生きる場はない」

「親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加する者は党派を超えてること」

「最も弱いものをひとりもれなく守る」

以上が守る会の三原則です。

大勢の中では、一人一人の個性や命が見えなくなってしまう。数字に置き換わってしまいます。九五〇一人と九五〇二人の犠牲では、変わりないと報道されてしまいますが、九五〇二人目のそのおひとりのことを考えるとそれは、大切な命なのです。

争いの中では、最も弱いのが最も大切な命を守ることができなくなってしまうのです。

病棟のTさんは、人工呼吸器に身を委ねていますが、いつも穏やかな表情です。朝、診察のときにいつも笑顔で挨拶をしています。言葉に出しての「おはようございます」の挨拶の後に、

心の中で、「体の痛いところはないですか」「今日も素敵な一日になると思いますか」と声をかけます。表情、心拍、緊張など「Tさんの発信」に「こころ」を傾けます。特別なことはできないけれど「笑顔」はエネルギーになると信じています。

外来のNさんは、相手が言葉に出して

て指示を出してくれないと理解できません。周りの状況に応じて、うまく立ち回ることができません。それでも、本人に届くような声かけをしてもらったときには、きちんとやり遂げることが

ができます。しかし、同年齢の子たちに理解してもらえず孤立してしまいがちです。まわりの環境調整ができれば、

自信をもって過ごすことができます。人の評価について考えることがありますが、何事にも前向きで一生懸命である人を見て、「チャレンジ精神が旺盛で積極的な人」と評価する人もいますが、

「自分勝手にまわりのことを考えない独りよがりな人」というように正反対に評価する人もいます。どちらの評価が人を伸ばし成長させることができるか考える必要があります。

子育ての上手な祖母が、落ち着かない多動な子供に「じっとしなさい、走らない」と否定的な声かけをしている母親に対して、笑顔と穏やかな声で、

「好奇心旺盛な子だね」と伝えるところの空気が変わります。まるで、魔法の様に子供も落ち着きを取り戻すことがあります。

立場や状況によっても価値観が異なります。それでも、お互いに理解し合うことが大切です。

自分自身、自戒を込めて、三つの目標を立てています。

私の三つの目標は、

①笑顔で人と接すること。

笑顔で話しかけると、ご利用者が受け入れてくれることが多いように感じます。また、人を不快にさせないためにも笑顔は大切です。

②相手のいいところを十個頭の中で考

えらること。

人を見ると相手の欠点が目につく人も多いのではと思います。常に相手のよいところを考えることで相手に対する自分の気持ちが変わってきます。

③忙しくなりすぎないように心がけること。

忙しいと人は心が病んでしまいます。他の人に厳しくなってしまう。自分のキャパシティを常に考える必要があります。ゆとりが大切です。

この二年間は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる行動制限により皆様の生活スタイルも短期間で激変してしまっただけではないかと思

います。また、入所されている方も外出・外泊の制限をせざるを得ない状態となっており、大変つらい思いをされたこと

と思います。センター職員は、感染に注意しながらも潤いのある生活保障をめざして、リモート面会やリモートによるアトラクション、病棟単位でのレクリエーション活動をおこなってき

ました。ご利用者が、日々の生活に少しでも潤いが持て、若草の様にぬくもりをもって輝けるように、チームで援助していきたいと思います。

卒業を祝う会

かもめ分教室

令和四年三月二十二日に卒業を祝う会が行われました。高等部二名の生徒が社会へと巣立ちました。新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン実施となりましたが、保護者の方には各家庭より一名、病棟での会にご参加いただくことができ、病棟スタッフの方々が利用者の皆様に見守っていただきながら卒業しました。これからは学校生活で蓄えた力を糧に、二人の人生が更に豊かで笑顔に溢れたものになることを願っています。

(かもめ分教室)



江東区障害者作品展

毎年、利用者様が行事や日中活動で制作した作品を展示してくれている江東区障害者作品展が今年も昨年度同様、Webでの開催になりました。期間は二月十七日～三月十六日までで江東区

の他施設も色々な作品を出展していました。

今回当センターからは、東部フェスティバルの時皆さんが作ってくれた虹と魚(水族館)を出展しました。

(療育部 谷家)

乳幼児通所卒園式

通所

三月二十九日(火)に令和三年度乳幼児通所ほろほれの卒園式を行いました。今年度の卒園生は六名です。

感染対策を行い、今年度初めて乳幼児通所の卒園生全員がプレイルームに集合することができましたが、在園生は

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、ZOOM配信を利用した参加となりました。

全員で集まることができない環境のため、映像などで工夫を凝らし、これまでのほろほれの思い出を振り返りました。また在園児の贈る言葉や卒園児挨拶では、皆さんが涙し感動的な場面になりました。

このような状況の中で、無事に卒園式を行うことができ、卒園生六名の門出をお祝いすることができたことに感謝したいと思います。

(乳幼児通所 木原)

行事紹介

一月から三月にかけて当センターで行われた行事をご紹介します。

病棟 成人式

令和四年一月十二日に三階西病棟で二名の方の成人式が行われました。

コロナウイルスの感染者数が日に日に増える中で、何度も成人式の在り方を話し合ってきました。当日の朝になり、

病棟利用者様の参加も最低限の人数に制限されてしまいましたが、お二人をお祝いする気持ちは病棟中に溢れていました。

お仕事の関係で出席できないご家族がオンラインで参加したり、三階南病棟とZOOMでつなぎお祝いの歌を合

同でプレゼントしたりと、コロナ禍だからこそできたお祝いの仕方もありました。沢山の祝福を受け、新たな人生

のスタートを歩きだしたお二人をこれから温かく見守って下さい。

(三階西病棟 橋)

三階南病棟では二名の利用者様が成人を迎えられました。アットホームな雰囲気の中、新成人の方々は素敵なス

ーツ姿と振り袖姿に身を包んで登場され拍手喝采でした。院長と主治医の挨拶、

学生時代の恩師からの手紙が届き真剣な表情の成人者の姿がありました。

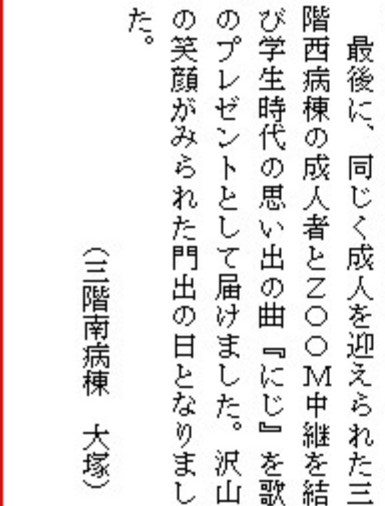
『二十歳の歩み』をまとめたスライドショーではお二人の成長の姿に笑顔や涙もみられ感動的な時間となりました。

最後に、同じく成人を迎えられた三階西病棟の成人者とZOOM中継を結び学生時代の思い出の曲『にじ』を歌のプレゼントとして届けました。沢山の笑顔がみられた門出の日となりました。

(三階南病棟 大塚)



～3階南病棟成人式記念撮影にて～



～3階西病棟成人式～



(乳幼児通所 木原)



葛西臨海公園
—桜と観覧車—2022.3.28
(撮影：益山副院長)

活動紹介

各病棟・通所での昨年度の活動を
ご紹介いたします。

2階西病棟 二階西病棟では一年を通して
色んな活動を行ってきました。

運動では新しくモルックにチャ
レンジし、利用者様は職員と一緒に試
行錯誤しながら楽しんでいました。
音楽ではトーンチャイムや年末の歌合
戦で盛り上がりました。創作では行事
に合わせて、いろいろな制作物に取り
組み、おぼけやクリスマスカードなど
季節感を感じました。ムーブメント活
動ではオーロラを見に行き、素敵な世
界にうっとりしている利用者様が多か
ったです。その他にもスノーズレン、射
撃大会なども行いました。また、個別
活動にも取り組み、職員と一対一での
時間を楽しみました。感染対策のため
制限のある中ではありますが、利用者
様がより楽しい時間を過ごせるよう
令和四年度も取り組んでいきたいと思
います。

(二階西病棟 齋藤)

3階西病棟 三階西病棟では、様々な活動
を行ないました。車椅子ダンス
やバランスボード、スノーズレ
ンやボーリング等はおちろん、お花見
活動や凧あげ、福笑いなど季節を感じ
られる活動も行ないました。三月には
「温泉につかってホット」息つきましよ
う!」をテーマにグループ活動を行な
いました。まずはふれあいリラック
ス体操で身体をほぐし、どこの温泉がい

いか相談です。草津や乳頭、別府な
ど決まった温泉地へ出発！テラス
を半周し天気の良い日はそのまま外
で行ないました。テラスから見える
桜並木の桜がちょうど咲き始め、春
景色の中、温泉のもとを入れたお湯
で足浴やマッサージをし、まさにホッ
ト一息！令和三年度の活動を締めく
くりました。

これからもたくさん楽しい活動が
できますように！

(三階西病棟 森)

3階南病棟 昨年度、ちごゆり病棟では
「お誕生日特別個別活動」と
題し、皆さんの誕生日前後に
個別活動を企画する取り組みをしま
した。利用者様の好きな事や普段中々
できないことなど、担当支援員が利
用者様と一対一で三十分程度じっく
り関わります。マッサージ・エステ・
音楽遊び・絵描き・テラス散歩・お
やつ等、皆さんとても嬉しそうなの
を見てくださいました。

またお部屋でも季節を感じられる
活動を増やしました。季節の花を飾
り付けたスカーフを揺らしたり、ラ
イトに季節をイメージしたカラーセ
ロハンを貼り付けて天井を照らした
り。しかし、本物が一番！一月に
は雪に触れてみたり、暖かくなって
からはテラスからお花見もしました。
たくさん散歩に行けるようになる日
を楽しみに待っています。

(三階南病棟 清水)

2階南病棟 コロナ禍、二年目に入り二階
南病棟では三密を避けるため、
昼食後、十三時からデイルーム
で過ごす利用者様を曜日決めて、日
中の活性化に努めています。

ムーブメント活動ではデイルーム、
病棟通路、テラスを使い車椅子で身体
を動かしたり、季節を感じてもらえる
内容を取り入れて楽しめました。
音楽活動は、ボックスドラムでの体
験で、振動で伝わるリズムや音の高低
での心地よさなどを、ヒットソングに
乗せて楽しみました。

正月の書初めで、新年の抱負を漢字
一文字で表し、創作活動で作った名前
の消しゴムはんこを印しました。個性
あふれる作品となり病棟に飾りました。
レクリエーションでは、双子パンダ
の名前募集にも応募しました。残念な
がら落選でしたが、パンダの話題で利
用者様と社会との繋がりができました。
テラスに出られないほど寒い日は、
黒ひげ危機一髪ゲームで、グループで
ドキドキ体験、飛び出した時の驚いた
顔や、罰ゲームでの顔にシール貼り
笑顔いっぱい見られました。

個別活動では、アロマのマッサージ、
英会話、本の読み聞かせ、コンサー
ト鑑賞、キーボード遊び、手紙書き、じゅ
うたんブランコ等、個々の利用者様の
希望に合わせて、取り組みました。
最近では、テラスに咲いた、桜、チュ
リップ、ゆきやなぎを見ながら、春を
感じて過ごしています。

(二階南病棟 平井)

連載コーナー

リハ科

今年度は、リハビリテーション科が
一年間連載記事を担当します。

第一回目は「コロナ禍でのリハビリ
グループについて」です。

これまでリハビリテーション科では、
成人の入所者様を対象とし、病棟を超
えて様々なグループ活動を展開してき
ました。利用者様一人ひとりの興味や
関心、年齢や性別などを考慮し、一グ
ループ五名〜八名程度でグループを構
成していました。



コロナ禍以前のグループ

しかし、新型コロナウイルスの感染
拡大で私たちの生活が大きく変わら
ました。コロナ禍において、入所・通所
利用者様の暮らしの柱のひとつとして
保障してきた日中活動やリハビリのグ
ループ活動を制限せざるを得ない状況
となったのです。

今まで通りとはいかないものの、こ
の二年間で新たな工夫を加えて利用者
のみなさんにグループ活動を提供す
ることを考えてきました。行動に制限が
求められる今こそ、入所・通所の利用
者様の感情(こころ)が動く療育を目
指すことを念頭に置いて内容を考え
ています。

現在は、病棟のデイルームを使用し
一グループ三名(同病棟)でミニグル
ープを行なっています。スクリーンを使
ってライブ映像を視聴したり、移動式
スノーズレンを体験したり、ポッチャ
やモルックなどの運動活動、音楽活動
やアクセサリー作りなど、活動の幅は広
がっています。

病棟内でのリハビリグループをするよ
うになったことで、病棟職員がリハビ
リグループの内容を共有できるような
なり、活動に興味を持ってくれること
も増えてきました。
感染予防対策を万全にした上で、今
年度は病棟外での活動も検討してい
たいと考えています。病棟・通所職員
と協力し、創意工夫をしながら皆様が
楽しめる活動を模索して行きます！

(リハビリテーション科 根本)



現在のミニグループ

訓練

総合防火・防災

三月二日、総合防火・防災訓練を
行いました。

煙感知器の発報により一階コンセ
ントから出火が判明。初期消火が困
難という想定です。

今回も密になることを避けるため
利用者様、模擬患者等は参加せず災
害対策本部の運営と各部署における
避難行動などの確認を主眼に置きま
した。訓練には、火災時、館内に流
れる火災放送を流し続けたり、各所
へ状況付与を行いそれらへの対応を
図ることを盛り込んでいます。

訓練終了後の反省会では、より実
践に即した訓練となったことやけが
人が発生したときは応援要請の有無
も伝達するなどの意見がだされまし
た。意見や反省点を検討し、マニユ
アルなどへしっかりと反映させていく
ことが重要と考えています。

(防火防災対策委員会)



災害対策本部のようす

通所

昨年度の通所グループ活動で
は国内旅行をテーマに三回実施
しました。五月は九州、七月は
東北。十一月は東海を旅しました。各
地の映像を観ながら疑似旅行を楽しみ、
観光スポットに合わせた感覚刺激で旅
行気分を楽しみました。旅行には飛行
機や新幹線など乗り物に乗ってスタ
ート。温泉の映像を見ながら足湯。皆さ
んリラックスした表情が多くみられま
した。気持ちよさに寝てしまう利用者
様も多かったです。皆さんのお気に入
りは夜景や花火、洞窟の映像でした。
なかなか見られない景色によく視線を
向けて見ていたのが印象的でした。

またゲーム活動も定期的に行い、昨
年はオリンピックやパラリンピックも
あり、定番のポッチャ。何度も行っ
ているゲームにただ高得点を狙うだけ
なくゲームの駆け引きや勝敗をくだわ
る様子も見られ、オリンピックのよう
な白熱した戦いが繰り広げられました。
昨年度から行っている新しいゲーム
「モルック」にもチャレンジしました。
木の棒を投げて、点数の書いてある棒
を倒すゲームです。木のぶつかる音に
驚く利用者様もいましたが木と木がぶ
つかり、たくさん棒が倒れる爽快感
に力強く投げ姿もありました。

今年度も通所では経験の拡大が出来
るような感覚刺激のある活動やゲーム
などつながりを持った活動を行い継続
性のある活動展開をし、利用者様そ
れぞれが楽しめる活動を行っていき
たいと考えています。

(通所 宮田)

療育部

研修について

療育部では、研修の一貫として例
年、卒後一年目には「療育観」を、
卒後二年目には「事例のまとめ」を
発表する機会を設けています。

一年を通して、それぞれの成長が
伺えるとともに、聞いている先輩た
ちも初心に戻れる貴重な会です。

これから更なる躍進を期待するば
かりです。共に東部療育センターを
盛り上げていこう！

(療育部 高橋)



卒後1年目
「療育観」発表会



卒後2年目
「事例のまとめ」発表会

令和四年度 事業方針

東部療育センターは、平成十七年の開設以来、「全国重症心身障害児(者)を守る会」が東京都の指定管理者として運営を行っています。

今年度も引き続き、守る会の「最も弱いものをひとりももれなく守る」という基本理念のもと、手厚い医療・看護と介護が必要な都内の超(準超)重症児者を積極的に受け入れるとともに、区東部療育の障害児者を支援する中核的施設としての役割を担ってまいります。

事業の内容と規模はこれまでと同様、病棟は長期入所九十床、短期入所二十四床、医療入院六床、外来は一日百人、通所は成人・乳幼児合わせて一日三十五人で運営いたします。

また、地域療育等支援事業や保育所等訪問支援事業などを実施し、在宅療育の支援や地域の関係機関等との連携・支援を行います。

当センターの利用者の重症度を見ますと、入所者の約七十八%、通所登録者の八十四%が超(準超)重症児者ですが、全職員が連携・協力し、利用者との年齢や発達に合わせた安全・安心な療育とQOLの向上に努めつつ、短期入所もよりご利用いただき病床稼働率九十%を目指します。

事業の運営にあたっては次の五点を重点事項として取り組みます。

- 1 高度な医療・療育・療養介護とライフステージに応じた多様な取組
- 2 地域との連携強化と在宅支援の充実・強化
- 3 専門人材の育成と活用
- 4 いきがいを持って働ける職場づくりと安定的な施設運営
- 5 新型コロナウイルス感染症対策

（事務長 松浦）

院内 第十四回院内研究報告会

【三月九日(水)開催】

今年度も参加者の安全と感染拡大防止を考慮し、三会場に分散しオンラインで配信を行いました。八題(研究報告七題、業務改善一題)について報告することができました。

審査は抄録、発表資料、発表内容、質疑応答をポイントとして、審査委員により総合的に評価を行いました。継続的に行っている研究や専門分野をより具体的にまとめた研究もありましたが、今回は業務に役立つ、現場で活かせる演題が受賞となりました。(庶務係)

【最優秀賞】
「気管切開を持つ重症心身障害児(者)の気道の加湿状況と加湿方法の検討」呼吸の湿度に影響を及ぼす要因について考える」
三階南病棟 中川 恵子さんほか

【優秀賞】
「業務改善」三南の取り組み」
三階南病棟 清水 美穂子さんほか

【敢闘賞】
「重症心身障害児・者施設で勤務する看護師と生活支援員の仕事に対するやりがい」
二階南病棟 船木 康予さんほか

「重症心身障害児・者の終末期ケアの看護師の判断と工夫」
三階南病棟 伊藤 あゆみさんほか

令和三年度 福祉サービズ 第三者評価 結果概要

令和三年度も前年度の評価結果を踏まえた改善状況など継続的に評価してもらったため、前年度と同一の評価機関である「一般社団法人Ricoolab」に依頼して第三者評価を行いました。評価方法は、定められた評価基準と手順を基に行われ、場面観察やアンケート結果も反映されています。ご家族の皆様にはアンケートにご回答いただきありがとうございました。

「入所・通所」(特に良いと評価された点)

- ①「MEP A・II R」評定表を使ったアセスメントにより利用者一人ひとりの強みを活かした個別支援計画の作成に取り組んでいる
- ②利用者の楽しみの一つである食事の充実、個性の高い介助方法等、「食」に関する取り組み

「食」に関する取り組み

「さらなる改善が望まれる点」

- ①利用者の権利擁護について共通認識を図っている一方、支援場面での留意事項等を職員間で話し合う機会を留意していくことが望まれる
- ②中期計画の立案が滞っているため、中期計画検討ワーキンググループを定例開催する等によって

（経営企画係）

（写真）
受賞された皆さん
(前段左から伊藤さん、中川さん、岩崎院長、清水さん、船木さん、後段左から、横山さん、益山副院長、小倉さん)

部門紹介 検査科

検査室では、採取された血液や尿などを検査し身体の状態や治療の経過を調べる検体検査と、身体から発生する微弱な電気信号を解析する心電図・脳波・超音波検査・骨密度測定などの生体機能検査を行っています。

診断において利用頻度が高い検査項目は、院内で測定し受付後一時間以内に報告しています。他の特殊な検査項目や細菌培養検査は、外部委託をしています。また生体機能検査は、一般病院と比べ検査時間を長めに取り、利用者様が余裕をもって検査が受けられるよう配慮しています。

今後、信頼できる検査結果を提供していきたいと思っております。

東部あれこれ

年始から春にかけてのセンターの動きです。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、年末までは少なく落ち着いていましたが、一月に入ってから急激に増え、東京では一月二十一日からまん延防止等重点措置が適用され三月二十一日まで続きました。一方で、当センターでは三回目のワクチン接種が順調に進み、一月・二月には職員三月には入所されている方三十六名に接種を行いました。また、四月には入所されている方、外来や通所の方への接種を行っています。

【一月】
寒いながらも晴天で穏やかな年明けとなりました。元旦にはおせち料理をいただき、新しい年の始まりを祝いました。六日には雪が降り十センチほど積りました。

【二月】
四日から北京で冬季オリンピックが、また、三月には冬季パラリンピックが開催され、たくさん感動がありました。二月十三日までの予定だったまん延防止等重点措置が三月六日まで延長されました。(後に、三月二十一日まで再延長されました。)

【三月】
二日に火災を想定した総合防災訓練を実施しました。一階の通所スタッフルームから出火した想定で、初期消火、利用者や外来の皆様の避難誘導や災害対策本部の情報収集や指示などについて確認しました。

また、十六日夜には福島県沖を震源とする最大震度六強の地震が発生し、東京では震度四を観測して停電も発生しました。地震に対する備えも十分に行いたいと思います。三月は卒業の季節です。二十二日には、かもめ分教室の二名の方が墨東特別支援学校高等部を卒業し病棟で祝う会が開かれました。また、二十九日には乳幼児通所ほれぼれを六名の方が卒業されました。ご卒業ご卒業おめでとうございます。

（事務長 松浦）

院内 辞令交付式

四月一日(金)研修室で新規採用者・昇格者の辞令交付式がありました。新規採用者は医師三名、臨床検査技師一名、看護師七名、児童指導員一名、事務二名で、昇格者は十名でした。

辞令交付式の後は、院長講話や当センターについての説明、守る会本部事務局長から守る会について、利用者ご家族様からのご家族のお話、部門紹介などの全体研修がありました。

新たな職員を加え、これからそれぞれの部署で力を合わせて運営してまいりますので、よろしく願いいたします。

岩崎院長から一人ひとり辞令を交付されています

岩崎院長挨拶

【編集後記】

ようやく、まん延防止等重点措置も解除されましたが、繰り返し新型コロナウイルスの流行にまだまだ注意をしなければなりません。気持ちも疲れませんが、満開の桜で少しだけでも心をお花見できませうか。わか草掲載用に益山副院長から桜の写真を沢山いただいたのですが、選んでいる時間は癒されました。

さて、四月は新たな一年が始まる季節です。今年度は穏やかな年度になることを祈っております。

←これまでのわか草をご覧になりたい方はこちらからどうぞ

